

特別管理産業廃棄物処理計画書

7年6月26日

熊本県知事 殿

提出者

住所 熊本県上益城郡益城町田原2025-5
 株式会社 同仁化学研究所
 氏名 上野 右一郎

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 096-286-1515

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

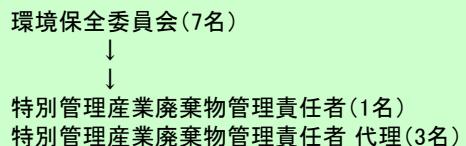
事業場の名称	株式会社 同仁化学研究所	
事業場の所在地	熊本県上益城郡益城町田原2025-5	
計画期間	7年4月1日から	8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	1697 試薬製造業
②事業の規模	35億(令年6年度実績)
③従業員数	130名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	原料受入れ ↓ ↓ 反応工程 ↓ ↓ 精製工程 ↓ → 不純物除去 (廃棄物) → 保管 → → 廃棄物業者処分委託 (燃料化) ↓ 乾燥工程 ↓ ↓ 試験工程 ↓ ↓ 小分け工程 ↓ ↓ 出荷

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (6 年度) 実績】									
① 現状	特別管理産業廃棄物の種類 (有害含む)								
		廃油	廃酸						
	排 出 量	136.59	t	3.10	t		t		t
	特別管理産業廃棄物の種類								
	排 出 量		t		t		t		t
(これまでに実施した取組)									
結果、生産量が前年度と同等であったため、排出量に大きな変化はない。 排出物の一部は有価物として排出しており、その対象品目を拡大するための調査を進めた。 結果、新たに一部の廃棄物を有価物として再生利用業者へ処理委託した。									
② 計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類 (有害含む)	廃油	廃酸						
	排 出 量	170.00	t	15.00	t		t		t
	特別管理産業廃棄物の種類								
	排 出 量		t		t		t		t
(今後実施する予定の計画)									
特別管理産業廃棄物の排出量は、販売量、及びそれに伴う生産量の予測から増加していくと見込んでいるが、引き続き有価物化を更に推し進めることで、排出量の抑制に取り組みたいと考えている。									

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	1) 生産現場に分別用の容器を設置し、廃棄物の種類毎に収集する。 2) 最終保管場所である産業廃棄物庫も廃棄物の種類毎に収集場所を決めて保管する。
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	上記取組みを継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】	
① 現状	特別管理産業廃棄物の種類 （有害含む）
	廃油 廃酸
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量
	0.00 t 0.00 t
	特別管理産業廃棄物の種類
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量
	t t t t t t t t t t t t t t t
	(これまでに実施した取組)
	検討を行ったが実現しなかった。
【目標】	
② 計画	特別管理産業廃棄物の種類 （有害含む）
	廃油 廃酸
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量
	t t t t t t t t t t t t t t t
	特別管理産業廃棄物の種類
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量
	t t t t t t t t t t t t t t t
	(今後実施する予定の計画)
	社内での再生利用の検討を継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】	
① 現状	特別管理産業廃棄物の種類 （有害含む）
	廃油 廃酸
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量
	0.00 t 0.00 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量
	0.00 t 0.00 t
	特別管理産業廃棄物の種類
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量
	t t t t t t t t t t t t t t t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量
	t t t t t t t t t t t t t t t
	(これまでに実施した取組)
	特になし
【目標】	
② 計画	特別管理産業廃棄物の種類 （有害含む）
	廃油 廃酸
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量
	0.00 t 0.00 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量
	t t t t t t t t t t t t t t t
	特別管理産業廃棄物の種類
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量
	t t t t t t t t t t t t t t t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量
	t t t t t t t t t t t t t t t
	(今後実施する予定の計画)
	特になし

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】	
① 現状	特別管理産業廃棄物の種類 （有害含む） 廃油 廃酸
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量 0.00 t 0.00 t
	特別管理産業廃棄物の種類
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量
(これまでに実施した取組) 特になし	
【目標】	
② 計画	特別管理産業廃棄物の種類 （有害含む） 廃油 廃酸
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量 0.00 t 0.00 t
	特別管理産業廃棄物の種類
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量
(今後実施する予定の計画) 特になし	

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】	
① 現状	特別管理産業廃棄物の種類 （有害含む） 廃油 廃酸
	全処理委託量 136.59 t 3.10 t
	優良認定処理業者への処理委託量 101.90 t 1.04 t
	再生利用業者への処理委託量 19.14 t 0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託料 0.00 t 0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 117.45 t 3.10 t
	特別管理産業廃棄物の種類
	全処理委託量
	優良認定処理業者への処理委託量
	再生利用業者への処理委託量
	認定熱回収業者への処理委託料
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
(これまでに実施した取組) 1) 契約の通りに適切に処理されているか定期的に現地確認を実施する。 2) 処理業者の再利用を可能にする、又は容易にする様に社内で廃棄物の分別・仕分けを行い、また、依頼業者との情報交換により可能な場合には再利用のための処理を施す。	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

第 面

について

特別管理産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	上野 右一郎	提出者の住所	熊本県上益城郡益城町田原2025-5 株式会社 同仁化学研究所
事業場の名称	株式会社 同仁化学研究所	事業場の所在地	熊本県上益城郡益城町田原2025-5
内容年度	平成 7 年度		

(単位:トン)